

米子市立山陰歴史館

# 歴史館だより

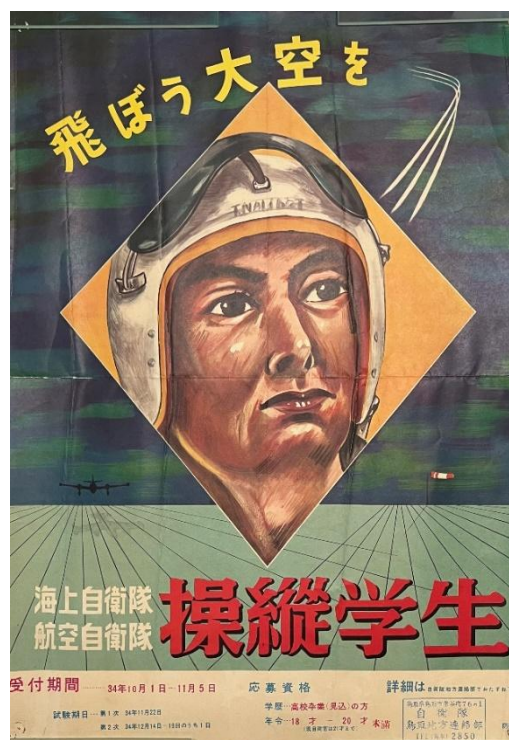
2024. 3. 28 vo. 8



歴史館のマスコットキャラクター  
れきくん しーちゃん かんくん

## 企画展 ～米子の近・現代を映す～ 「広告いろいろ展」

引札やチラシなどの広告で近代の商業や世情について、その魅力を紹介します。



会期 2024年4月14日(日)～6月9日(日)

開館時間 9:30～18:00(17:30までに入館)

期間中の休館日 毎週火曜日

観覧料 300円 70歳以上、大学生以下、障がいのある方は無料  
(5月18日(土)は国際博物館の日記念事業のため観覧料無料)

## 常設展 「尾高城跡展」

### — 土の城から石の城へ —

尾高城跡は、令和5年(2023)に国指定の史跡となりました。これを契機にして、第2展示室の米子城の展示に加えて尾高城を紹介する展示コーナーを設けました。

尾高城は鎌倉時代の領主の居館が造られたのを創めとして、米子城が築城されるまで西伯耆の要の城として存在した重要な城でした。

城は土塁と空堀に守られた典型的な中世の城の縄張りを持っており、二の丸、本丸、中の丸、天神丸、山下などを平野の前面に、背後に越の前、方形館跡、南大首などの郭を配しています。方形の8つの郭を連ねた大規模な連郭式の城館跡の姿をしています。

これまでの尾高城の発掘調査では、掘立柱建物や空堀、井戸、土塁で守られた通路等の遺構が見つかりましたが、注目されたのは初期の石垣遺構と石塁です。廃城前の時期に土の城から石の城へ変わっていく姿が確認されたのです。また廃城にあたり城割が行われたこともわかりました。

また城の生活を物語る貿易陶磁器などの出土品も多数出土し、中世から近世へ移り変わる城の姿をよく物語っている城跡として国の史跡指定を受けたのです。



尾高城跡展示コーナー

## 「特急やくも新型車両」試乗会報告

令和6年(2024)4月6日から特急やくもの新型車両が伯備線に導入されることとなり、関係者や市民に試乗会の公募がありました。山陰歴史館は、JR資料が収蔵保管されていることもあり試乗会へ招待されましたので参加しました。車両は美しく乗り心地も大変良かったです。



## 2階 展示室 淀江傘

淀江傘の起こりは1821年（文政4）、倉吉から来た倉吉屋周蔵が傘屋を開いたことによると伝えられます。1881年（明治14）、津山の西金蔵が傘製造の指導に招かれたのが契機となり、淀江傘の製造が飛躍的に発展し、大正時代には傘製造業者が71軒あり、年間の生産量17万本となっていました。戦後、洋傘が普及し1951年（昭和26）をピークに和傘づくり減少しました。

1984年（昭和59）には、最後の製造者の田中軍司氏が廃業しましたが、和傘作りの技術は「淀江傘伝承の会」に引き継がれ細々と生産が続けられています。米子市無形文化財に指定されています



淀江傘展示

## 米子城三の丸跡設置トイレに米子城展示コーナー



三の丸跡トイレ施設



休憩施設の米子城展示

令和6年(2024)3月22日に史跡整備中の米子城跡の三の丸跡に、米子城来訪者の便益施設としてのトイレの竣工式がありました。また、自動販売機も設置される予定です。

この施設には、男女用と多目的用のトイレが設けられたほかに、米子城を紹介する休憩施設も設けられており、映像の放映や解説パネル等が設置されました。

絶景の城日本一に輝いた景色を撮影した写真パネルと米子城の絵図など歴史的な解説の紹介パネルも設置されています。

この施設の展示は、年に数回展示替えをして四季折々の米子城跡の姿を紹介する予定です。

## 令和 6 年度の主な展示事業

事業名	内容・入館料・入館者数	開催日又は実施期間
<b>常設展</b> 米子城展、昔の暮らし 展、 鉄道のまち 米子の歴史展 昭和の学校、弓浜絃展	国史跡米子城跡、鉄道資料、民俗資料、昭和の 学校などの歴史をとおして、人々の暮らしの様 子、2 階小展示室では、米子の遺跡を紹介して います。 観覧無料	通年・随時展示替
<b>企画展</b> ～米子の近・現代を映す～ 「広告いろいろ展」	米子市周辺の商店を中心に引札やチラシ、ビラ などの広告を展示紹介する。近代の商業や世情 について振り返るとともに、資料としての広告 の魅力を市民に発信する。 観覧料：300 円 5/18(土)は無料	4 月 14 日(日) ～ 6 月 9 日(日)
<b>共催展</b> 池田家墓所写真コンクール展 共催：池田家墓所保存会	池田家墓所の写真コンクール入賞作品を展示す る。 観覧無料	6 月 22 日(土)～ 7 月 21 日(日)
<b>館蔵品展</b> 「子どものあそび・おもちゃ(仮称)」	館蔵品の子どもの遊びやおもちゃに関する資料 を展示し紹介する。 観覧無料	8 月 4 日(日)～ 10 月 14 日(月・祝)
<b>企画展</b> 「民具でたどる郷土の 暮らし(仮称)」	郷土の暮らしや産業を支えてきた民具や、それ に関連する写真や資料を展示し、その歴史を紹 介する。 観覧料：300 円	10 月 27 日(日)～ 1 月 13 日(月・祝) ※関連事業：絃製作体 験、唐箕体験など
<b>館蔵品展</b> 「田村写真館コレクション ガラス乾板展 (仮称)」 共催：米子市埋蔵文化財センター、 上淀白鳳の丘展示館	令和 5 年度に寄贈された田村写真館コレクショ ンのガラス乾板の米子市内各所の写真を中心 に、郷土の歴史を振り返る機会とする。 観覧料 300 円	令和 7 年 1 月 26 日(日) ～3 月 30 日(日)

## 米子市立山陰歴史館



開館時間 9:30～18:00 (17:30 までに入館)

休館日：毎週火曜日 祝日の翌日 12 月 29 日～1 月 3 日

〒683—0822 鳥取県米子市中町 20 番地

電話/0859—22—7161 fax/ 0859—22—7160

<http://yonagobunka.net/rekishi/>

E-mail:saninrekishikan@dear.net.jp [編集：小原]